

救急・救助編

西諸広域圏域の救急業務概要

西諸広域行政事務組合消防本部における救急業務は、昭和47年広域行政発足と同時に運用を開始し、現在は中央消防署1隊、えびの消防署1隊、高原分遣所1隊、野尻分遣所1隊、須木分遣所1隊の計5隊で活動している。

救急業務高度化推進状況については、中央消防署、えびの消防署、高原分遣所、野尻分遣所、須木分遣所に高規格救急車を配備し、救急救命士を中央消防署に12名、えびの消防署に10名、高原分遣所に7名、野尻分遣所に4名、須木分遣所に3名配置し運用している。

令和7年中の救急活動状況は、出場件数が3,867件で前年より106件減少している。1日約10.6件の割合で救急隊が出場している。

行政区域別では、小林市2,347件(+5件)、えびの市1,004件(-104件)、高原町482件(-14件)、その他34件の出場となっている。

搬送人員は3,207人で前年より177人減少し、救急車の利用は住民20人に一人の割合となっており、各市町別では、小林市22.1人、えびの市21.4人、高原町12.9人に一人の割合となっている。(令和7年1月の西諸の人口)

(1) 事故種別の出場状況(前年比)

出場件数3,867件のうち急病によるものが最も多く2,537件(-243件で約0.9%減)、次いで転院搬送494件(+36件で約1.1%増)、一般負傷431件(+61件で1.2%増)の順となっており11種類に分類されている救急事故種別の中で、急病、転院搬送、一般負傷の3種で全体の90%を占めている。

(2) 年齢区分別搬送人員

医療機関搬送人員3,207人のうち(新生児生後28日未満)3人、(生後28日以上満7歳未満)76人、(満7歳以上18歳未満)104人、(満18歳以上65歳未満)651人、(満65歳以上)2,373人の搬送となっていて、高齢者の搬送が全体の74%を占めている。また、傷病程度は搬送3,207人のうち軽症者が1,099人で全体の34.3%を占めており、高齢者が641人となっている。

(3) 医療機関別搬送人員

3,207人の救急患者を医療機関へ搬送しているが、このうち2,861人(89.2%)を救急告示医療機関へ搬送し、うち管外搬送は447人である。

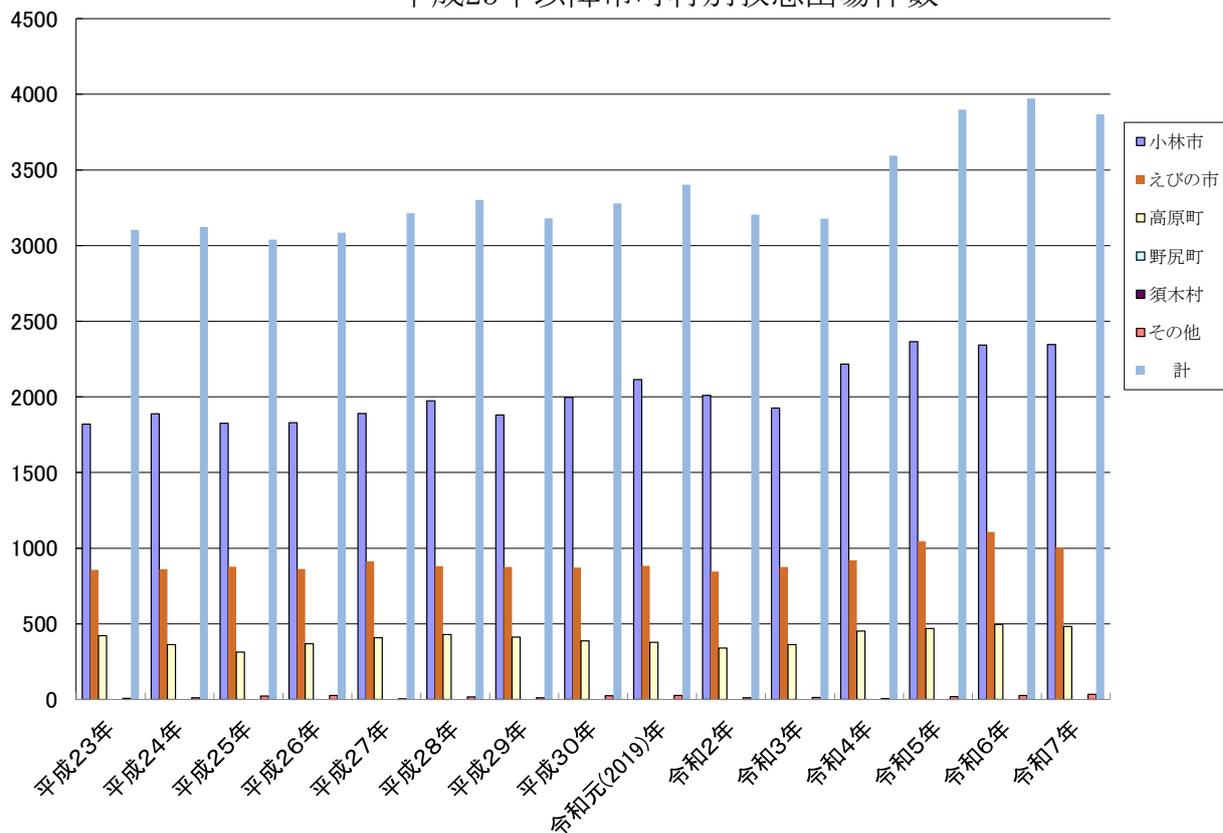
(4) 転院搬送出場状況

出場3,867件のうち494件(12.7%)が転院搬送件数である。転院搬送については、ほとんどが処置困難による専門医療機関への転院である。

(5) 応急処置実施状況

3,207人の対象人員に15,654件の応急処置を実施している。最も多いのが、血中酸素飽和度の測定3,074件、血圧測定3,050件、心電図3,019件で合わせて58%を占めている。

平成23年以降市町村別救急出場件数



	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元(2019)年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
小林市	1819	1889	1826	1829	1890	1974	1880	1996	2114	2010	1927	2217	2365	2342	2347
えびの市	857	861	878	862	913	882	876	871	883	845	875	920	1045	1108	1004
高原町	422	363	313	369	408	429	413	388	378	339	362	452	469	496	482
野尻町															
須木村															
その他	7	11	23	26	4	16	12	24	27	11	14	6	19	27	34
計	3105	3124	3040	3086	3215	3301	3181	3279	3402	3205	3178	3595	3898	3973	3867

事故種別署所別救急出場状況

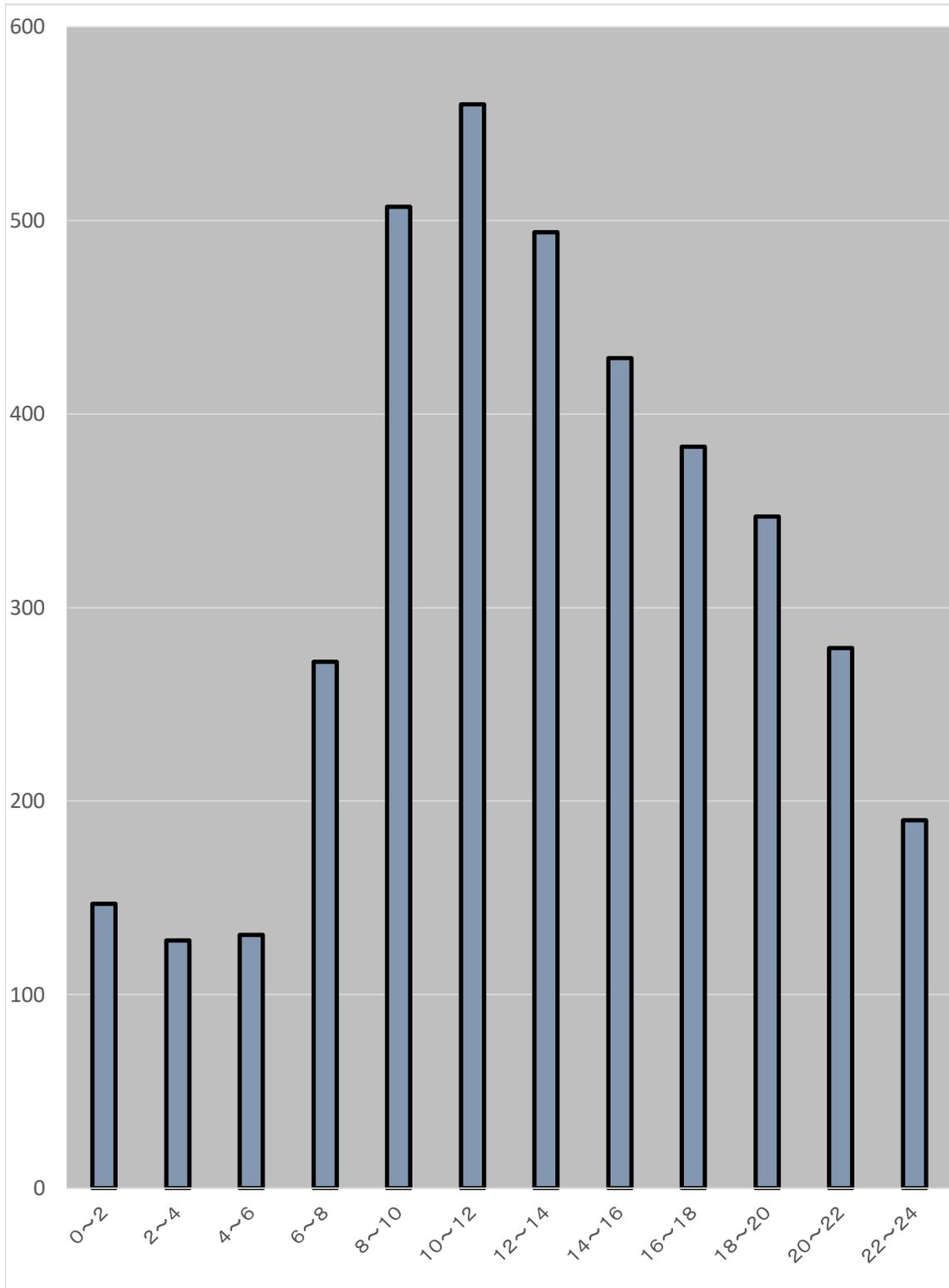
事故種別		事故種別													合計	
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院搬送	医師搬送	資機材搬送		その他
総計	出場件数(件)	25		1	278	35	17	431	4	13	2537	494	13		19	3867
	搬送人員(人)	3			175	42	22	514	3	13	1945	484			6	3207
中央消防署	出場件数(件)	9			105	9	4	200	2	8	1030	227	1		7	1602
	搬送人員(人)	1			75	10	8	249	3	8	822	223			2	1401
えびの消防署	出場件数(件)	4		1	52	12	3	107	1	2	656	50			4	892
	搬送人員(人)				40	13	3	119			519	49				743
高原分遣所	出場件数(件)	9			65	8	6	82	1	2	537	78			5	793
	搬送人員(人)	1			37	10	8	88		4	384	77			2	611
野尻分遣所	出場件数(件)	1			46	5	3	30			267	42			2	396
	搬送人員(人)				23	7	3	45		1	185	40			1	305
須木分遣所	出場件数(件)	2			7	1	1	12		1	47	97			1	169
	搬送人員(人)	1				2		13			35	95			1	147
本部	出場件数(件)				3								12			15

月別事故種別救急出場状況

月	区分	救 急 事 故 種 別														
		計	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他
1	出場件数 (件)	406	1			21	6		56	1	1	270	44	4		2
	搬送人員 (人)	320				12	7		51		1	205	43			1
2	出場件数 (件)	351	7			28	5		32		1	232	40	3		3
	搬送人員 (人)	276	1			13	4		39		2	178	39			
3	出場件数 (件)	302	5			21	2	2	30			203	36	2		1
	搬送人員 (人)	248	1			17	2	2	37			153	36			
4	出場件数 (件)	276	4			16	6	2	24			186	35	1		2
	搬送人員 (人)	224				12	7	2	26			141	35			1
5	出場件数 (件)	311				34	1	1	28		3	207	36			1
	搬送人員 (人)	260				18	3	1	38		3	162	35			
6	出場件数 (件)	300	2			24	4	1	32		1	187	48			1
	搬送人員 (人)	253				12	5	1	41		2	147	45			
7	出場件数 (件)	325				24	2	5	40		1	192	57	1		3
	搬送人員 (人)	274				14	2	8	49		1	144	56			
8	出場件数 (件)	342				31	1	2	32	1	1	239	33			2
	搬送人員 (人)	288	1			20	2	3	44	1	1	182	33			1
9	出場件数 (件)	347	4			18	4		33	1	1	230	53			3
	搬送人員 (人)	286				13	5	1	35		1	179	51			1
10	出場件数 (件)	284				18	1	2	42	1		175	44	1		
	搬送人員 (人)	259				14	1	3	55	1		140	44			1
11	出場件数 (件)	271	1		1	21	2	1	36		2	173	32	1		1
	搬送人員 (人)	241				17	3		51	1	1	136	32			
12	出場件数 (件)	352	1			22	1	1	46		2	243	36			
	搬送人員 (人)	278				13	1	1	48		1	178	35			1
計	出場件数 (件)	3867	25		1	278	35	17	431	4	13	2537	494	13		19
	搬送人員 (人)	3207	3			175	42	22	514	3	13	1945	484			6

時間帯別救急出場件数

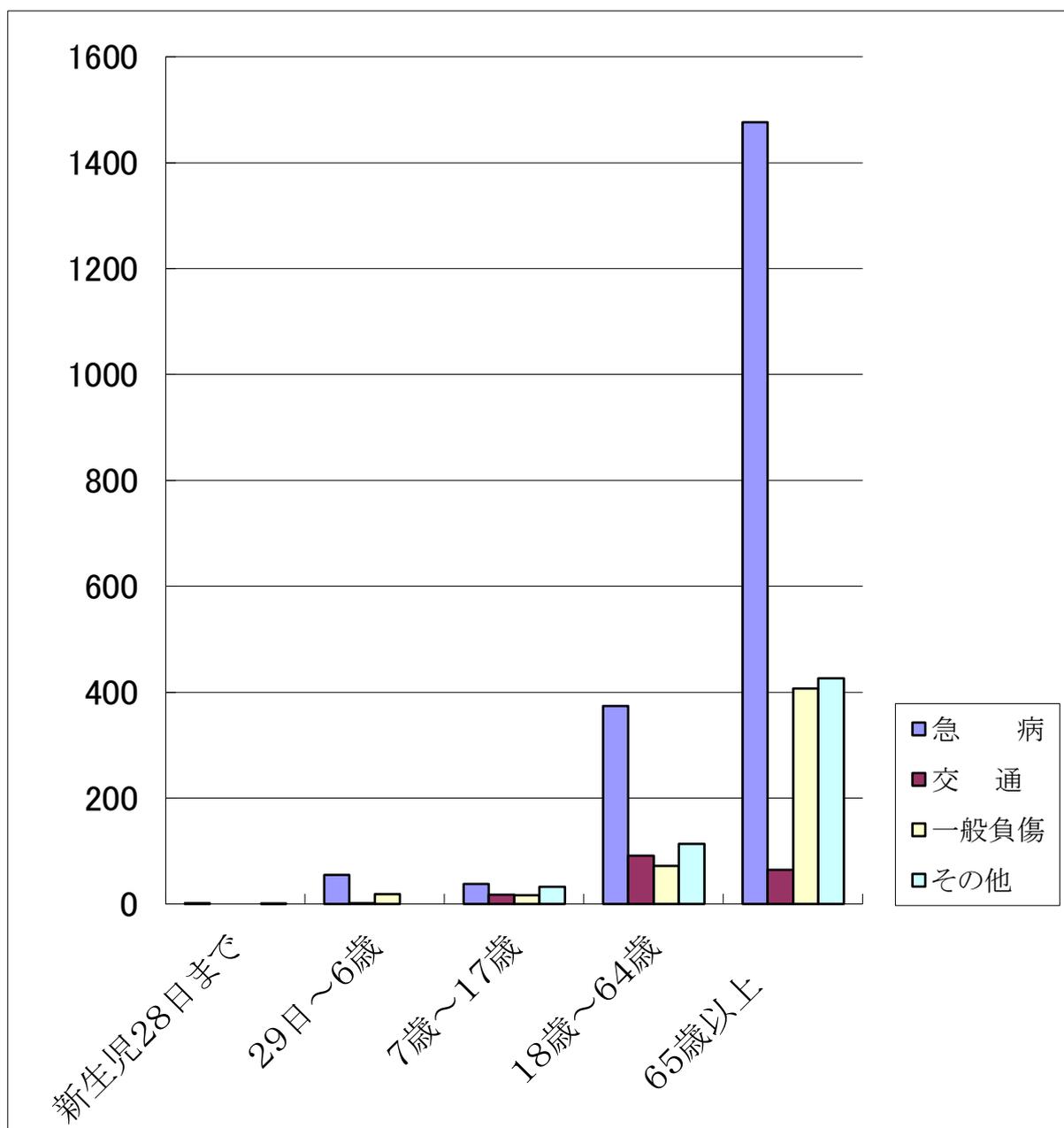
(単位:件)



時間	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24
件数	147	128	131	272	507	560	494	429	383	347	279	190

年齢区分別事故種別搬送人員

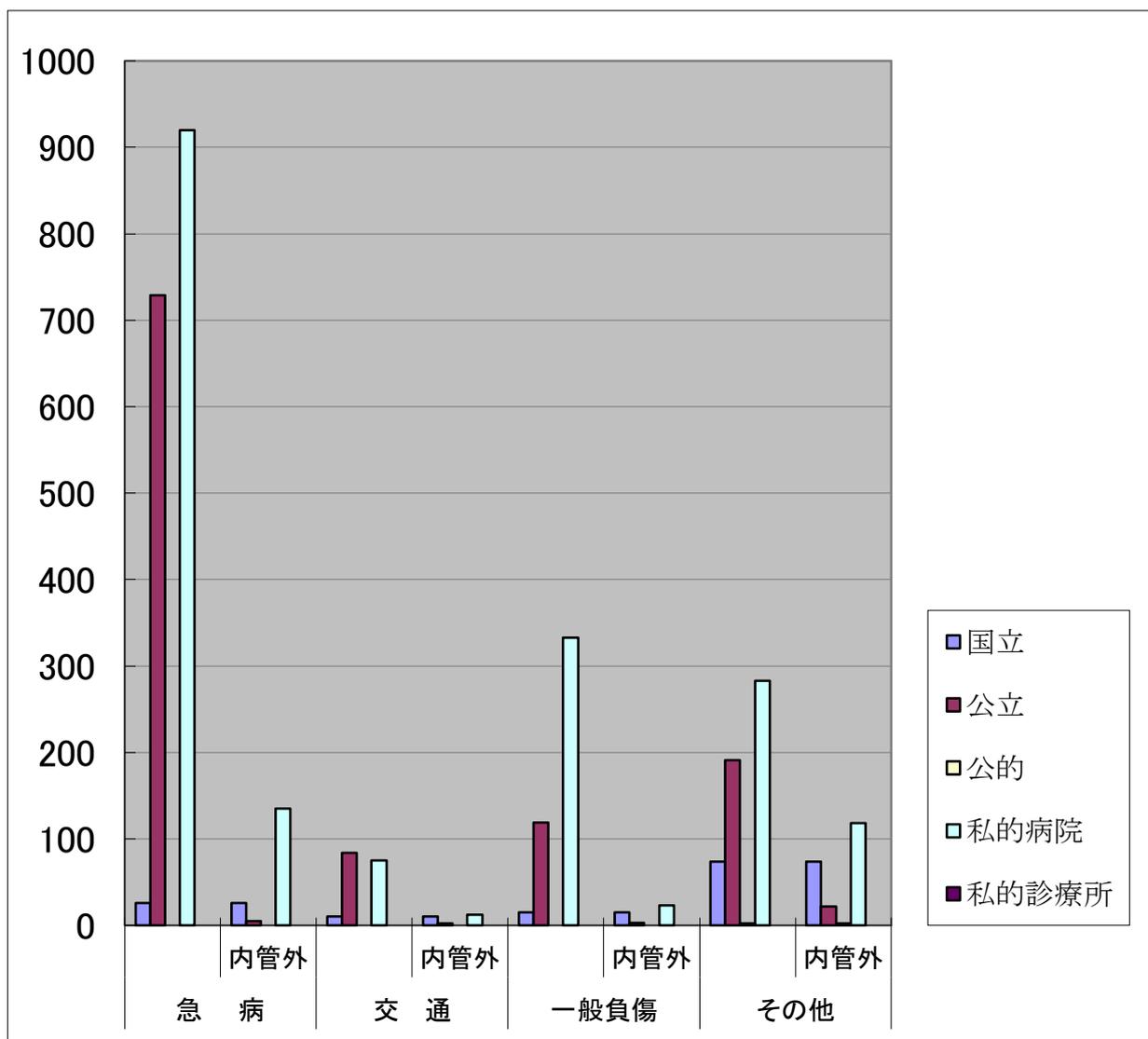
(単位:人)



	急病	交通	一般負傷	その他	計	比率
新生児28日まで	2			1	3	0.1%
29日～6歳	55	2	19		76	2.4%
7歳～17歳	38	18	16	32	104	3.2%
18歳～64歳	374	91	72	114	651	20.3%
65歳以上	1476	64	407	426	2373	74.0%
計	1945	175	514	573	3207	100.0%

※「その他」は急病・交通・一般負傷を除く全てで、救急事故に分類不能のもの及び誤報、いたずら等で救急事故等の不明なものを含む。

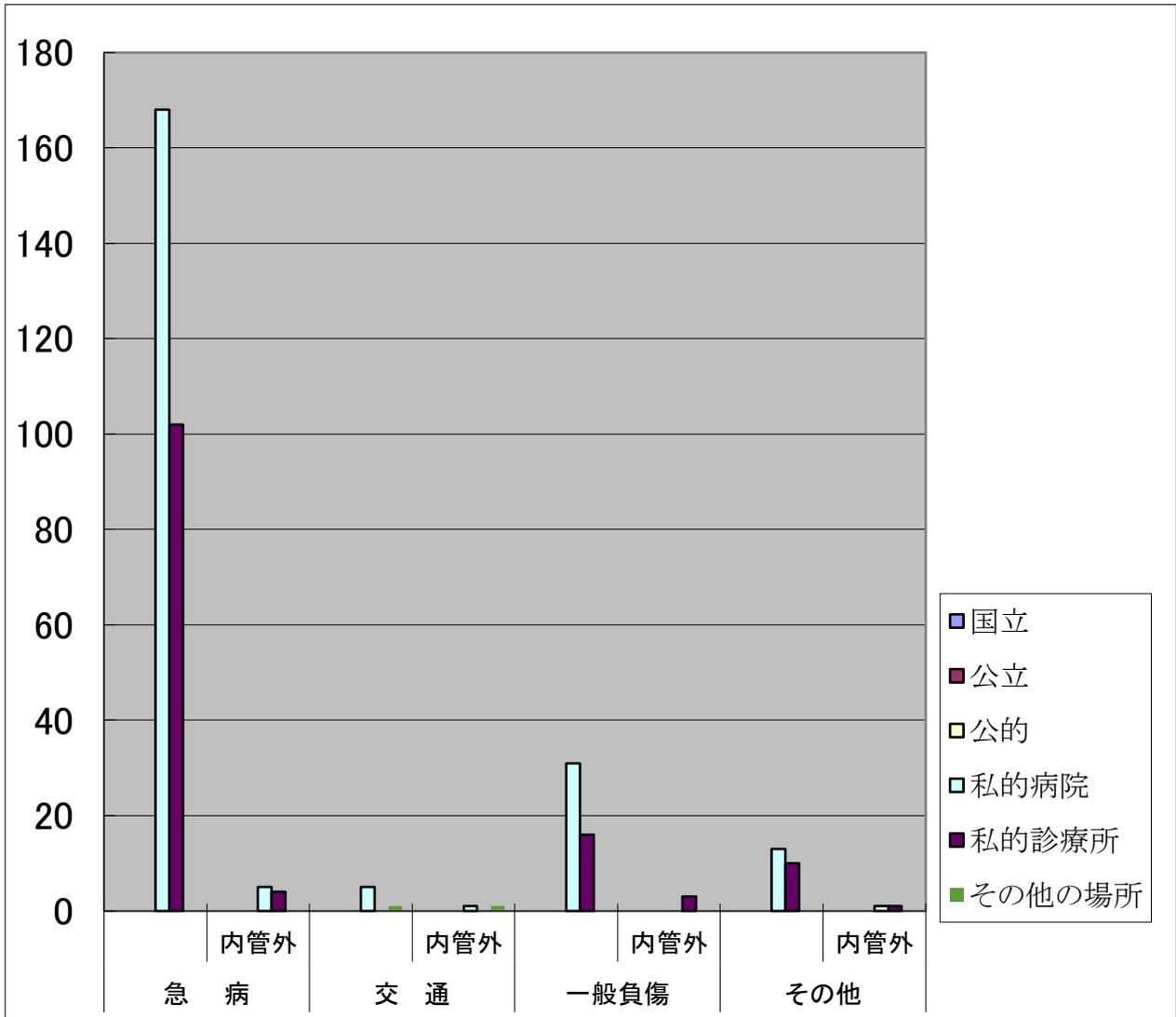
事故種別医療機関別搬送人員(救急告知医療機関) (単位:人)



事故種別 告示別	急病		交通		一般負傷		その他		計	
	内管外	内管外	内管外	内管外	内管外	内管外	内管外	内管外	内管外	
国立	26	26	10	10	15	15	74	74	125	125
公立	729	5	84	2	119	3	191	22	1123	32
公的							2	2	2	2
私的病院	920	135	75	12	333	23	283	118	1611	288
私的診療所										
計	1675	166	169	24	467	41	550	216	2861	447

※「その他」は急病・交通・一般負傷を除く全てで、救急事故に分類不能のもの及び誤報、いたずら等で救急事故等の不明なものを含む。

事故種別医療機関別搬送人員（その他の医療機関）（単位：人）



事故種別 告示別	急病		交通		一般負傷		その他		計	
	内管外	内管外	内管外	内管外	内管外	内管外	内管外	内管外	内管外	
国立										
公立										
公的										
私的病院	168	5	5	1	31		13	1	217	7
私的診療所	102	4			16	3	10	1	128	8
その他の場所			1	1					1	1
計	270	9	6	2	47	3	23	2	346	16

※「その他」は急病・交通・一般負傷を除く全てで、救急事故に分類不能のもの及び誤報、いたずら等で救急事故等の不明なものを含む。

現場到着所要時間別出場件数

(単位:件)

	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計
急病	9	171	1,200	978	179	2,537
交通事故	1	21	87	128	41	278
一般負傷	1	36	187	157	50	431
その他	11	139	204	163	104	621
計	22	367	1,678	1,426	374	3,867

収容所要時間別搬送人員

(単位:人)

	10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上		計	
		内管外		内管外		内管外		内管外		内管外		内管外		内管外
急病			7		210		1,283	40	434	129	11	6	1,945	175
交通事故			1		10	1	98	9	63	14	3	2	175	26
一般負傷			1		37		342	12	130	29	4	3	514	44
その他			62		156	6	185	64	165	144	5	4	573	218
計			71		413	7	1,908	125	792	316	23	15	3,207	463

救急隊員の行った応急処置実施件数

(単位:件)

応急処置 事故種別	傷病程度	対象人員	止血	固定	人工呼吸	心肺蘇生	酸素吸入	気道確保	保温	被覆	除細動	静脈路確保 (輸液)	薬剤投与	血圧測定	血中酸素飽和 度の測定	心電図	血糖測定	ブドウ糖投与	その他	計
	重症	345		3	19	8	171	31	12	1	3	8	2	339	334	339	12		509	1791
	中等症	782	4	6	9		260	16	59	7		9		775	776	764	26	3	1174	3888
	軽症	720	13	2			85	2	46	7		6		692	712	679	19	6	996	3265
	その他	2							1					2	2	2			2	9
交通	死亡	3		2	1	2	1	3		1		1	1			3			4	19
	重症	11	3	10			9		3	4		4		11	11	11			22	88
	中等症	60	3	50			21		6	14				60	59	59			109	381
	軽症	101	3	56			8		8	9				96	96	84			171	531
	その他																			
一般負傷	死亡	4		1	2	1	4	3				2		1	1	3			6	24
	重症	131	4	22	1	1	20	3	8	8		3	1	129	127	121			164	612
	中等症	169	14	38			22		17	23		3		163	166	156	1		229	832
	軽症	210	44	19			5		12	76				202	207	183	2		250	1000
	その他																			
その他	死亡	6			2	4	6	4	1			2	2	2	2	5			5	35
	重症	223	5	7	3		92	5	9	4		2		221	221	207	2		263	1041
	中等症	276	3	13	2		100	2	14	5				271	271	258			314	1253
	軽症	68	6	6			9		5	7				68	68	62			78	309
	その他																			
計		3207	102	235	77	85	887	155	201	166	11	66	27	3050	3074	3019	62	9	4428	15654

高速自動車国道救急業務実施状況

(1) 署所別管轄区間

- ・中央消防署救急隊
 - 宮崎自動車道 下り線 小林IC～高原IC
 - 上り線 小林IC～えびのIC
- ・高原分遣所救急隊
 - 宮崎自動車道 下り線 高原IC～都城IC
 - 上り線 高原IC～小林IC
- ・えびの消防署救急隊
 - 宮崎自動車道 下り線 えびのIC～小林IC
 - 九州自動車道 下り線 えびのIC～栗野IC
 - 上り線 えびのIC～人吉球磨スマートIC
- ・野尻分遣所及び須木分遣所は高速の管轄区間はあります。

(2) 事故種別救急出場件数

交＝交通・一＝一般負傷・急＝急病・他＝その他の分類

(単位:件)

区 分	九州自動車道				九州自動車道				宮崎自動車道				宮崎自動車道				計			
	下り				上り				下り				上り							
事故種別	交	一	急	他	交	一	急	他	交	一	急	他	交	一	急	他	交	一	急	他
中央消防署									4		2					1	4		2	1
高原分遣所									4		3		1				5		3	
えびの消防署	1				2	1	3		2								5	1	3	
野尻分遣所									1		1						1		1	
須木分遣所																				
計	1				2	1	3		11		6		1			1	15	1	9	1
合 計	1				6				17				2				26			

(3) 事故種別救急搬送人員

交＝交通・一＝一般負傷・急＝急病・他＝その他の分類

(単位:人)

区 分	九州自動車道				九州自動車道				宮崎自動車道				宮崎自動車道				計			
	下り				上り				下り				上り							
事故種別	交	一	急	他	交	一	急	他	交	一	急	他	交	一	急	他	交	一	急	他
中央消防署									4		1						4		1	
高原分遣所									4		3						4		3	
えびの消防署	1				1	1	3										2	1	3	
野尻分遣所											1								1	
須木分遣所																				
計	1				1	1	3		8		5						10	1	8	
合 計	1				5				13								19			

応急手当の普及啓発活動の状況

救急業務において、傷病者の救命率の向上を図るには、救急救命士及び救急隊員の応急処置の技術の向上及び救急資機材等の有効な活用とともに、救急現場に居合わせた、家族等の的確な応急手当は不可欠である。

このため住民に対する、応急手当の普及啓発を図ることは極めて大切であると考え、当消防本部では、平成7年より「応急手当の普及啓発の推進に関する規則」（平成6年規則第10号制定、平成26年5月27日改正）普及啓発活動を実施している。

令和元年以降に当消防本部が実施した、普及啓発活動は次のとおり。

(単位:件)

		事業所	消防団	福祉施設	官公庁	学 校	保育園等	その他	合 計
令和2年	小 林 市	7		4		12	5	4	32
	えびの市	9		7	2	32	1	5	56
	高 原 町	2				5		1	8
令和3年	小 林 市	30						34	64
	えびの市	18	31					25	74
	高 原 町	16							16
令和4年	小 林 市	36				53		39	128
	えびの市		42					18	60
	高 原 町								0
令和5年	小 林 市	43			28	16	24	104	215
	えびの市	30	42					38	110
	高 原 町	20						6	26
令和6年	小 林 市	8			2	2	1	4	17
	えびの市	6	1			1			8
	高 原 町	1							1
令和7年	小 林 市	4		2		1	1	4	12
	えびの市	4	1			4			9
	高 原 町	1							1
	合 計	235	117	13	32	126	32	282	837

救助統計

概況

令和7年の救助出動件数は50件、救助活動件数は24件、救助人員は29人であった。

事故種別の件数は「交通事故」が30件で最も多く、「その他の事故」が16件「機械事故」が3件「火災」が1件であった。

山岳救助を含む「その他の事故」が令和6年の約半数となったが、6月に新燃岳で7年ぶりの噴火が確認され降灰や火山ガスの影響があったことが要因と考えられる。10月には噴火警戒レベルも引き下げられ、入山者も増加すると考えられるため、今後とも事故のないよう登山を楽しんでもらいたい。

救助出動件数

(単位：件)

	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス酸欠	爆発事故	その他	合計
令和6年	0	28	4		0				29	61
令和7年	1	30	0		3				16	50
増減	1	2	-4	0	3	0	0	0	-13	-11

救助活動件数

(単位：件)

	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス酸欠	爆発事故	その他	合計
令和6年	0	13	3		0				21	37
令和7年	1	12	0		3				8	24
増減	1	-1	-3	0	3				-13	-13

救助人員

(単位：人)

	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス酸欠	爆発事故	その他	合計
令和6年	0	14	3						22	39
令和7年	1	16	0		2				10	29
増減	1	2	-3	0	2				-12	-10

「救助出動件数」：消防機関が救助活動を行う目的で出動した件数をいう。

ただし、火災の場合は、救助活動を行うことができる資器材等を装備した消防隊が出動した件数をいう。

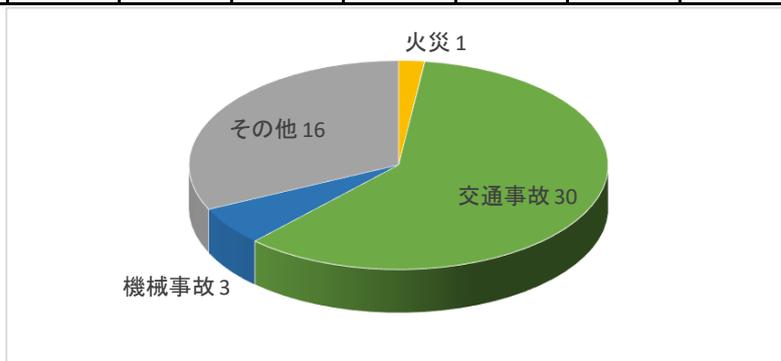
「救助活動件数」：救助出動件数のうち、消防機関が何らかの救助活動を行った件数をいう。

ただし、火災の場合は、救助活動を行うことができる資器材等を装備した消防隊が出動した火災のうち、消防機関が何らかの救助活動を行った件数をいう。

「救助人員」：消防機関が救助活動により救助した人員をいう。

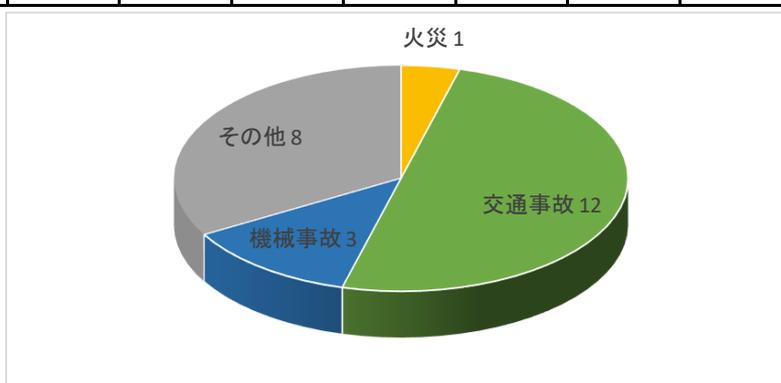
事故別出動件数

	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス酸欠	爆発事故	その他	合計
出動件数(件)	1	30	0	0	3	0	0	0	16	50
割合	2.0%	60.0%	0.0%	0.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	32.0%	100.0%



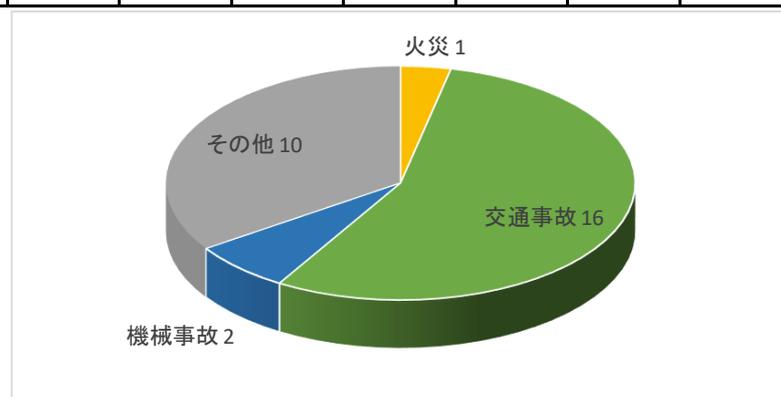
事故別活動件数

	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス酸欠	爆発事故	その他	合計
活動件数(件)	1	12	0	0	3	0	0	0	8	24
割合	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	95.8%



事故別救助人員

	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス酸欠	爆発事故	その他	合計
救助人員(人)	1	16	0	0	2	0	0	0	10	29
割合	0.0%	55.2%	0.0%	0.0%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	34.5%	96.6%



事故別・市町別件数

区分		火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス酸欠	爆発事故	その他	合計
小林市	出動件数(件)	1	15			2				7	25
	活動件数(件)	1	2			2				6	11
	救助人員(人)	1	4			2				7	14
えびの市	出動件数(件)		10			1				5	16
	活動件数(件)		8			1				2	11
	救助人員(人)		9			0				2	11
高原町	出動件数(件)		5							3	8
	活動件数(件)		0							0	0
	救助人員(人)		0							0	0

・発生場所は隣接市町の場合がありますので、P67の出場件数と合わない場合があります。



令和7年 消防年報

発行／令和8年3月

西諸広域行政事務組合消防本部 総務課

TEL 0984-23-5380

URL <http://www.nishimoro.jp>